

令和6年度 一関市立一関小学校 職員働き方改革アクションプラン

～教育の質の向上とワークライフバランスを考慮した業務改善と役割分担の見直し～

一関小学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

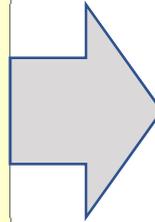
1 現 状

【教職員の4月の勤務状況】

- ①月45時間以上の残業者数（5人）
- ②月80時間以上の残業者（0人）
- ③在校等時刻が午後8時を超えたのべ教職員数（23人）
- ④所属教職員の月平均残業時間を報告（30時間）

【働き方改革を進める上での課題】

- ・コロナ禍で中止・縮小した学校行事や教育活動等の見直しを図ること。
- ・労働安全衛生委員会を働き方改革のために十分に機能させること。
- ・業務改善や行事の見直しを行う上で保護者や地域への説明と理解を得ていくこと。



2 目 標 ・ 目 指 す 姿

【R6年度目標】

- ・教職員一人一人が、ワークライフバランスを取りながら、やりがいと満足感をもって職務に取り組んでいる。
- 最終退勤時刻目標
 - ・教職員の残業をできるだけ減らし、最終退勤時刻の目標を19時に設定し取り組む。
- 学校における業務改善の推進目標
 - ・子供たちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- 教職員のワークライフバランスを意識した働き方改革の推進目標
 - ・教職員の時間外勤務時間を前年度比月平均10%以上削減する。

3 目標・目指す姿を達成していくための具体的取組内容

○教職員の健康管理	○学校における業務改善の推進	○学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進
<ul style="list-style-type: none">・管理職が教職員一人一人の職務と健康状態を把握し、面談や声かけなどを通して適切な指導・助言を行う。・教職員同士の良好なコミュニケーションを育み、心身ともに健康で明るく、かつ気軽に悩みを相談できる職場をつくる。・問題が起きた際は組織的に早期対応することで、問題が長期化しないようにする。・気兼ねなく年次有給休暇や振替等の取得ができる職場づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none">・業務改善に係る職員の意見を集約したものを労働安全衛生推進委員会において検討したうえで労働安全衛生委員会を開催する。・校務支援システムを積極的に活用する。・押印を可能な限り省略する。・会議資料のペーパーレス化を図る。・外部からの勤務時間外電話対応終了時刻を決める。・通信等は、「安心でんしょぼと」を併用する。・研究に係る学年の話し合いや作業時間を確保する。	<ul style="list-style-type: none">・地域と一体となった学校づくりをするために、学校運営支援協議会を通して、地域と連携・協働する取組について検討する。・働き方改革に向けた取り組みについて保護者の方に理解いただけるようアナウンスする。・これまで教員が担っていた業務の一部をスクールサポートスタッフ等を活用して対応していく。・学校集金を口座振替とする。・作品応募は可能な限り希望者とする。

令和6年5月20日 一関市立一関小学校 校長 菅原 正樹